



## 「地域とともにある学校づくり」への取組

### 「剛志の歌」を 地域の人みなで！！

上毛新聞 2018(H30) 7/3

7月3日の上毛新聞で、「剛志の歌」への取組が大きく取り上げられました。

### 取組その1 **7/7 (土)** ・御嶽山 ホテルまつり

演奏曲（「剛志の歌」）の紹介  
「剛志の歌」は、昭和3年に 作詞家：時雨音羽、作曲家：中山晋平の両氏にお願いしてできた曲です。当時、村の人みんなで歌える曲として、地域に広まりました。昭和39年に 剛志小の校歌ができてからは、歌われることがなくなってしまったので、私たちのおじいちゃんや おばあちゃんの中に知っている人がいるかどうかという様子です。この 「剛志の歌」を私たちが演奏することで、もう一度 地域のみなさんと一緒に口ずさめる ふるさとの歌にしていきたいと思っています。



### 伊勢崎 昭和初期の校歌、村歌

## 剛志の歌 再び響け

歌は作詞家の時雨音羽と作曲家の中山晋平によって1938年（昭和13年）作られた。剛志小の前身の剛志尋常高等小学校第6代校長で、後に講師に勤めた長谷川卓郎氏を通じて、同校が西氏に依頼した。校歌代わりで歌われていたほか、民謡調で歌いやすいため村歌としても親しまれていたが、64年に正式な校歌が作られて以降は次第に歌われなくなっていたという。校長室には長谷川氏からの「宛通知書簡」と古い楽譜が飾られている。4番まであり、利根川や赤城山、広瀬川といった自然の風景のほか、「繭の白さに緑の糸の」など蠶桑が根付いていたことを示す歌詞もある。復活を望む声は、剛志小



ホテルまつりに向け「剛志の歌」を練習する境剛志小マーチンクミニオンたち「剛志の歌」の楽譜

かつて旧剛志村（伊勢崎市）で校歌や村歌として親しまれていた「剛志の歌」を歌い継ごうと、伊勢崎境剛志小（須藤啓敏校長）が中心となって復活に取り組んでいる。同校のマーチンク

クラブが、7日に近くの境御嶽山自然の森公園で開かれるホテルまつりを皮切りに地元で催し、演奏を披露。再び地域の人々が口ずさめるよう曲を広める。

### 児童が祭りでもマーチンク 7日

に隣接する伊勢崎城西中の学校運営協議会が上った。同中学校は保護者や地域住民が学校運営に参画する「ミニコミュニティスミール」に指定されており、「地域とともにある学校づくり」を推進する中で話題になったという。協議会の石原国憲会長（72）同市境下武士IIは「70歳以上なら知っていると思っ、歌を通して今の子どもが昔を思いをさせ、昔の人は懐かしんでもいい」と話す。メロディーに親しんでもうらため、マーチンククラブの416年生39人が5月から練習している。ホテルまつりや9月の同校運動会、11月の剛志地区文化祭などで演奏する予定だ。クラブの子どもたちの歌声をCDにして、6月下旬から給食の時に流している。須藤校長は「地域に再び広げていけるといい。演奏の際、知っている人はぜひ一緒に口ずさんでほしい」と話している。

7月7日（土）、今年の御嶽山ホテルまつりは、天候にも恵まれ、予定通り開催されました。17時からの開会式の後、マーチンクの子どもの発表では、18時より「剛志の歌」他3曲を演奏しました。初めての試みで演奏だけでしたが、剛志の歌を知っているお年寄りの方から喜びの言葉を、祭り主催の「御嶽山ホテルと川辺の会」倉林会長さんからは、「来年は、みんなで歌おう」という温かい言葉をいただきました。

## 取組その2

### ・境剛志小 運動会

9/16  
(日)



雨の影響で1日順延になりましたが、当日は、晴天に恵まれ絶好の運動会日和になりました。今年度からラジオ体操の後、第1番にマーチングクラブの演奏を行いました。児童は、来場していただいた大勢の保護者地域の方のみなさんの前に立ち、「剛志の歌」について、丁寧に説明し、その演奏を聴いていただきました。

## 取組その3

### ・剛志地区 文化祭

11/17  
(土)



全6曲演奏させていただいた中、「剛志の歌」については、マーチングクラブの児童達が、今回初めて歌声を披露しました。公民館との連携で、プログラムの裏側に楽譜と歌詞を印刷していただき、来場者全員に配布することができました。会場の皆さんと一緒に「剛志の歌」を歌い、楽しめた瞬間でした。今後、こうした機会に継続して歌い続けられるとよいと思います。

#### 剛志の歌

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1 群馬の南 大利根の<br>流れはるかに 晴れわたり<br>岸の草ぐさ 咲き出でて<br>あり昔の 声をきく | 2 赤城は覚めて なだらかに<br>慈愛の光 みちる頃<br>桑園わたる 朝風は<br>剛志の心 傳へゆく | 3 廣瀬の流れ 絶え間なく<br>うつる浅間の 夕けむり<br>野山に力 みちみちて<br>のびる若葉に そそぐ雨 | 4 繭の白さに 繰る糸の<br>つきぬ力を あわせつ<br>輝く空の 陽のごとく<br>このふるさとを 護ろうよ<br>(護らまし) |
|---|---|---|--|